



「葛城氏の歴史を歩く」

- ◆実施日 7月10日(火)
- AM 9時30分近鉄御所駅集合 参加者33名、
- ◆行程： 鴨都波神社→一言主神社→  
長柄小学校→長柄神社→室宮山古墳  
(昼食) →風の森→高鴨神社→かもきみ  
の湯→解散

梅雨の合間のいいお天気の日、古代に大  
王家を凌ぐ力を持っていたとされる葛城氏の  
足跡を尋ねて葛城古道を歩いた。御所駅近く  
の鴨都波神社に集合し、今日のコースの説明  
を聞く。この辺は鴨族と呼ばれる一族が住ん  
でいたようで、やたらと鴨の付いた地名が多  
い。御所駅に戻りコミュニティバスに乗り、  
一言主神社に向かう。ここは地元では、いち  
ごんさんと呼ばれ、良いことも悪いこともひ  
とことだけ聞いてくれるという神様である。  
仁徳天皇の皇后磐之姫が、実家をしのんで歌  
った葛城高宮はこのあたりか。境内には大き  
な銀杏の木があり、乳瘤が有名だが樹勢が弱  
り、枝を大きく伐採されていたのは少し残念。

長柄神社から長柄小学校にある遺跡を見学  
し、かつらぎそつひこ葛城襲津彦の墓と言われる室宮山古墳へ  
歩く。古墳は宮内庁管轄外(天皇陵に指  
定していない)なので自由に見学できる、頂上



▲宮山古墳の石棺、穴は盗掘の痕



▲一言主神社にて

には石棺も露出しており、盗掘の穴から中も覗  
ける。古墳には複数の人が埋葬されており、葛  
城一族の墓とする説が有力である。葛城氏の祖  
とされる襲津彦という名であるが、襲は勇敢な  
という意味である(熊襲などと同じ)、彦は男  
を表すので勇敢な男という意味か、朝鮮半島に  
渡り新羅や伽耶を攻めたという記録が、朝鮮の  
史書に残っているので実在の人物らしい。当時  
は朝鮮半島との関係は、現在よりずっと緊密(い  
い意味でも悪い意味でも)で、倭国は度々遠征  
軍を派遣している。この室の辺りは秋津島とも  
呼ばれている、日本の別称である秋津島あきつしま  
みずほのくに瑞穂国を実感させる、葛城山系から流れる豊  
富な水を取り入れた水田が美しい。



▲全国鴨社の総元締め高鴨神社

次回の歴史文化クラブは9月12日 古事記  
編者太安万侶を訪ねてです。(文責 杉本)